

私たちの町の文化財

■第11話 春日射撃場

熊本は昔から「軍都」と呼ばれることがあります。今から約140年前に、熊本城一帯に旧陸軍の司令部を中心とした施設が集合していたのはご存じだと思います。現在も、RKK熊本放送局付近には「練兵町」の地名があります。練兵とは、その名の通り兵隊を訓練する事で、この一帯に訓練施設が存在していたことを示しています。ところで皆さんの住んでいる場所の近くにも、このような訓練施設があったのはご存じでしょうか。現在の春日8丁目付近に「春日射撃場」がかつて存在していました。全長約1.5km、面積約136,500㎡の射撃場です。熊本城に軍隊の中心施設が設置された頃に建設され、主に陸軍歩兵の射撃場として利用されていました。1886年（明治19年）熊本県は、射撃訓練に際し赤い旗を立てて周辺住民への注意喚起を行うよう、熊本鎮台に申し入れを行った公文書も残っています。現在の訓練でも新聞や広報などでお知らせをしている通り、明治時代の頃も周辺住民への配慮が感じられます。下の地図をご覧になって現在の地図と比べてみてもその名残が地形にも良く表れています。地名や町の区割りなどは、歴史の積み重ねによって現在に残っていることがあります。このような視点から歴史を考えると、現在とは違った風景が見えてくるとと思います。

熊本市文化振興課 山下宗親氏

大日本帝国測量部 1926年測図 2万5千分の1 「熊本」



花岡山！北岡神社！
こんな身近に古墳が
あったとはビックリ
するモン

